事例No.	2326
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	千葉県習志野市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・組織改革 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	その他

事例内容・タイトル

複数事業を通じた管理者の設置・同時施工による効率化

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【千葉県習志野市】
複数事業を通じた管理者の設置・同時施工による効率化

その他　**水道事業・下水道事業・ガス事業**

千葉県習志野市企業局業務部公営企画課

● 取組の概要

経営効率化を図るため、複数事業を通じた管理者を設置するとともに、水道管及びガス管の新設・更新工事を同一溝で実施することにより、同時施工を可能とした。

◆総事業費　下水道事業統合に係る事業費として
システム統合経費：約22,400千円、執務室統合経費：約1,600千円

◆背景

- 市長部局で実施する下水道事業について、公営企業の経営基盤の強化や財務マネジメントの向上等の観点から、公営企業会計を適用するとともに、更なる経営効率化を図る必要があった。
- 水道事業・ガス事業においては、昭和42年度にガス水道局を創設し、複数事業に一の管理者を設置していたが、下水道事業においても地方公営企業法適用に際し、同様の経営効率化を図るため、令和元年度に企業局へ統合することとした。

◆具体的内容

- 経営の効率化等を図るため、複数事業を統合し、一の管理者の下での運営とすることとした。
- 水道管及びガス管を新設・更新する際に、同一溝へ両管を布設する同時施工工事を実施した。

◆効果

- 同時施工により、建設費が削減された（個別工事の場合と比較し3割程度削減）。
- 個別工事に比べ管を布設する際の掘削幅を縮小できるため、産業廃棄物の排出量や埋戻土、舗装材の使用量が削減された。
- 同時施工により、騒音、振動及び交通支障が生じる期間を短縮できるため、周辺住民への負担が軽減された。
- 水道・ガス・下水道事業を通じた一の管理者の設置により、事業間の工事調整がしやすくなるなど、工事計画の策定が効率化された。

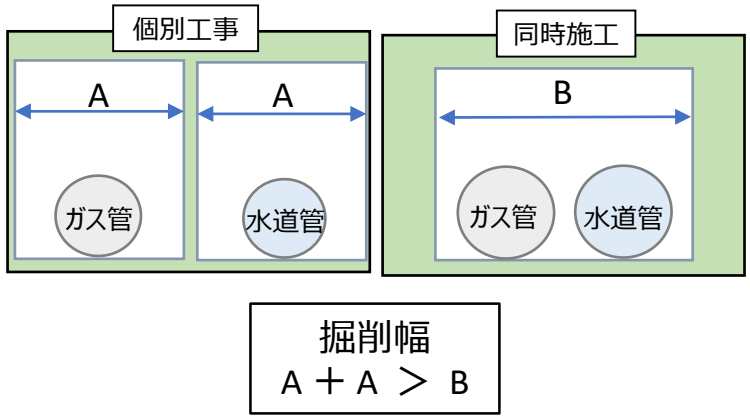
● 取組のポイント

- 業務の効率化を図るため、同一の会計システムを導入した。
- スムーズな統合を図るため、下水道事業の職員に対し、公営企業会計に関する研修を実施した。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　176,311人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　20.97km²（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　110,947人（令和3年度決算）
- 処理区域内人口　167,287人（令和3年度決算）
- 供給戸数　81,638戸（令和3年度決算）

工事イメージ



● 取組のスケジュール

- 平成27年5月頃に下水道事業の地方公営企業法適用の検討を開始し、平成31年4月に企業局へ統合。

● 今後の展望

- 下水道管は性質上、同一溝への布設は困難であるが、管埋没後のアスファルト舗装時に一括実施するなど、統合メリットを活かしていく。
- 管路の一元管理及び窓口一元化のため、今後は3事業のマッピングシステム（管路管理システム）の統合を検討する。